

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道444号 ^{ひらたに} 平谷バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県鹿島市山浦 ^{かしま やまうら} 至：佐賀県鹿島市山浦 ^{かしま やまうら}			延長	8.5 km	
事業概要						
<p>一般国道444号は、長崎県大村市^{おおむら}を起点とし、佐賀県鹿島市^{かしま}、佐賀市^{さが}を経て佐賀県佐賀郡諸富町^{さかもとみちよう}に至る延長約6.5 kmの幹線道路である。平谷バイパスは、一般国道444号の佐賀、長崎県境部の交通不能区間及び鹿島市山浦地内の線形不良、隘路区間の解消と、県営中木庭ダム建設事業に伴う付け替えを図ることを目的とした、鹿島市山浦地内の延長約8.5 kmの2車線道路である。</p>						
S55年度事業化	年度都市計画決定 (S年度変更)		S55年度用地着手	S56年度工事着手		
全体事業費	80億円		事業進捗率	91.7%	供用済延長	4.9 km
計画交通量	3,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.9 (残事業) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 33/112億円 (事業費：25/105億円) (維持管理費：8/8億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 44/439億円 (走行時間短縮便益：20/392億円) (走行費用減少便益：22/39億円) (交通事故減少便益：1/8億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの形成（現道における交通不能区間が解消される） ・災害への備え（緊急輸送道路一次指定） <p style="text-align: right;">他2項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>一般国道444号は、沿線地域の振興、佐賀長崎両県の連携強化に重要な役割を果たすことが期待されており、鹿島市をはじめとする関係2市7町の首長等で構成される「国道444号諸富鹿島間道路改修促進期成会」より早期整備の要望（平成15年）を受けている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<p>長崎県との県境に位置する平谷黒木トンネルの開通（平成11年3月）により、交通量が増加している。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
<p>平成18年度の中木庭ダム本体工事の完了に合わせて、平成16年度より平谷トンネル（仮称）に着手する。なお、現在までに約4.9 kmの供用を行った。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
<p>用地買収も完了しており、平成18年には事業完了予定である。</p>						
施設の構造や工法の変更等						
<p>推定土質の変動による切土法面工（アンカー工）、落石対策工等の追加を行った。</p>						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
<p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>						

